

# 仙台市連合町内会長会だより

第34号

令和7年3月発行

発 行:仙台市連合町内会長会

〒980-8671 仙台市青葉区二日町1番23号 アーバンネット勾当台ビルTFL 022-214-3810 FAX 022-214-6140

TEL 022-214-3810 FAX 022-214-6140 ホームページ https://www.sendai-sirentyoukai.com



会 長 鈴 木 公 至

#### ごあいさつ

町内会の皆様におかれましては常日ごろから本会の運営に対し深いご理解とご協力を賜り 厚く御礼申し上げます。また、日々大変な工夫をこらし、 所犯や高齢者・児童の見守りなどの活動を通して、よりなどの活動を通して、 安心で住みよい地域づくりの、 地域の諸課題に取り組んで

おられることに深く敬意を表します。

さて、近年は、毎年のように大規模な地震災害、豪雨災害が発生しており、人と人とのつながりを大切にする地域コミュニティは安全・安心の基盤であり、災害時における町内会活動の重要性が改めて認識されているところです。

一方、町内会加入率の低下や役員の担い手不 足、町内会を取り巻く社会環境の変化への対応と いった課題もございます。

このような状況の中、課題の解決に向けて一歩でも近づけるよう、仙台市連合町内会長会活動の4つの重点事項、「防災・減災、支え合いを主軸とする地域づくりの推進」、「町内会活動の担い手の育成支援」、「町内会への加入率・行事参加人数の向上策の推進」、「全国自治会連合会、宮城県自治会連合会、他都市自治会組織との連携の強化」に引き続き努めてまいります。

今後とも、単位町内会、連合町内会、区連合町内会長協議会、そして市連合町内会長会がこれまで構築してきたネットワークを活かし、仙台市や関係団体とも緊密な連携を図りながら、住民自治活動の振興・発展のため会員の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに、各町内会の益々のご発展と会員皆様の ご健勝をご祈念申し上げ、あいさつといたします。



仙台市長 郡 和 子

#### ごあいさつ

仙台市連合町内会長会の皆様には、本市の市政運営に対し、日頃から格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、日本各地で災害が 頻発し、とりわけ能登半島地震 の被害は大きく、本市も被災地 に対し、東日本大震災の経験を 踏まえた支援を行わせていただ

いたところでございます。町内会の皆様におかれましては、被災された方々の復興に向け、市内の多くの町内会から集まった500万円を超える義援金を被災地の町内会の皆様に贈られたと伺っております。被災された方々にとっても、あの大震災を経験した地域からの温かい支援は心強いものであったと思われ、私といたしましても、本市の町内会の底力を見ることができ、大変誇らしく感じております。

さて、東北大学の国際卓越研究大学の認定やナ ノテラスの稼働によって、本市はさまざまな価値観 を持つ方々が集う、彩り豊かなまちとなっていくも のと期待しており、今年は「仙台らしいダイバーシ ティまちづくり」の実現に向けて、市民の皆様とと もに各般の施策を推し進めてまいる所存です。

昨年は初めての試みとして、町内会の皆様が次世代の方々と共に持続的に活動できるよう、役員間の連絡調整などデジタル化の推進を伴走支援する「町内会デジタル化推進事業」を開始いたしました。このような施策だけでなく、性別、年齢、国籍等を問わず、多様な担い手が参加できる取り組みを各地域の実情に合わせた形で広げていくことが、彩り豊かな地域づくりにつながるものと考えております。

こうしたまちづくりを進める上で、地域の実情を知る町内会の皆様のご意見やご助力は、欠かすことができないものでございます。これまでにも増して町内会の皆様と手を携えながら、皆様の暮らしを色とりどりに豊かに彩るためのチャレンジを続けてまいりますので、市政運営の重要なパートナーとして、今後もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と、会員皆様のご 健勝を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

## 仙台市建合町内会長会 令和6年度活動状況

#### **▼定期総会**(6月3日)

議事に先立ち、10年以上勤続会員の表彰が行われ、3名の会員が表彰されました。(関連記事8頁)提案された令和5年度事業報告・会計収支決算報告及び監査報告、令和6年度事業計画案・収支予算案、理事選任・委嘱(報告)がいずれも原案通り承認されました。

#### ▼会員研修会·会員懇談会 (6月3日)

特色ある地域活動をテーマに定義町内会事務局の梅津義政氏、燕沢学区町内会連合会会長の大西憲三氏から事例発表いただき、地域の特性を生かした活動の取り組み状況や課題等について共有しました。 研修会終了後、市長や市民局長各区長等をお迎えして会費制による懇談会を開催し情報交換と懇親を深めました。





定期総会

会員研修会

**▼役員会**(第1回5月21日)(第2回10月25日) (第3回3月19日予定)

(第1回)議題 定期総会議案、運営 (第2回)議題 令和6年度後期事業予定 (第3回)議題 令和7年度事業計画案及び 予算の骨格(予定)

#### ▼正副会長会

正副会長会(会長・副会長(4名)・庶務理事・会計理事で構成)を毎月開催し、仙台市からの依頼事項や総会議案等を協議しています。

#### ▼みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム

1月11日に開催された「みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム」に「町内会で遊ぼう with 仙台弁こけし」を出展しました。この



出展ブース

#### ▼市長・副市長との意見交換会 (1月16日)



市長・副市長と正副会長会との 意見交換会

#### ▼北方領土返還要求署名運動

北方領土返還要求署名運動に毎年取り組んでいます。令和6年度は5,203名の署名が集まり、北方領土返還要求宮城県民会議に届けました。この署名は北方領土の早期解決に働きかけるため、「公益財団法人千島歯舞諸島居住者連盟」を通じて、国会に提出されます。





## 情襲区 連合町内会長協議会 令和6年度活動状況

#### △定期総会(5月10日)

令和5年度事業・決算報告や令和6年度事業・予算案などが原案通り承認されました。

#### △役員会 (4回)

△**定例会** (6月14日・10月10日・12月5日) 全3回開催し、事業の実施内容や地域課題に ついて、活発に意見交換を行いました。

#### $\triangle$ 新任町内会長研修会 (6月24日)

42 名が参加。市職員からごみ集積所の管理 や支援制度の説明、現役町内会長から町内会活 動事例の紹介を行いました。

#### △「第 36 回青葉区民まつり」への出展 (11 月 3 日)

「第36回青葉区民まつり」では、青葉区連協としてぶらんど~む一番町にブースを出展し、町内会活動などについて広報したほか、役員が来場した地域のみなさまや子供と交流したり、町内会に関するアンケートを実施するなどの新たな取り組みも実施しました。

#### $\triangle$ **連合町内会長研修会** (2月13日)

ナノテラスを見学し、その後東北大学特任教授の山田健一氏より国際卓越研究大学と地域との関わりをテーマに講義をいただきました。

#### 

当会は市内北西部に位置し、国宝大崎八幡宮、北山五山等伊達家の文化を継承する連合町内会です。管内には東北福祉大学、東北文化学園大学と東北大学留学生会館がある文教地区です。

本年で設立 56 年となり、20 の町内会で構成され、町内会と関連団体、大学が協力して、常に『国見で暮らす良さと楽しさを考え、福祉に強く、安全で安心なまちづくり』に地域全体で取り組んでいます。

平成31年には『国見地区平成風土記』を発刊。昨年度は「青葉区総合防災訓練」、今年度も「夏まつり」を実施する等活発に活動しています。



国見地区防災訓練の一コマ

#### 【宮城管内町内会長連絡会】

△**定期総会** (5月22日)

令和5年度事業報告・収支決算報告、令和6年度事業計画案・収支予算案について、原案通り承認されました。

△役員会 (6回)

△会員研修会・市長を囲む会 (1月23日)

#### 「観光資源の活用と地域活性化に取り組む」・・・・・ 大倉地域連合町内会 会長 小林 守

大倉地域には、仙台市民の水がめとして知られる大倉ダムと、年間約100万人が訪れる定義如来の2つの観光資源があります。しかし、行楽シーズンは多くの観光客で渋滞が生じ、また地震や豪雨等による法面被災が度々起こることから、長年対策を求め続けてきました。

その悲願が叶い、平成28年に高畑定義線改良事業が着工、新しい高畑定義線は桟道橋を採用し、ダムの湖面を走行する設計となっており、完成すれば新たな観光名所が生まれます。

当連合では、これらの観光資源の相乗効果を図り、交流人口の拡大を通じた地域の活性化を目指します。



紅葉の大倉ダム



## 宮城野区 連合町内会長協議会 令和6年度活動状況

#### △総会 (4月25日)

令和5年度事業報告・収支決算報告、令和6年度事業計画案・収支予算案が原案通り承認されました。

#### △新任町内会長研修会 (7月5日)

28 名の新任町内会長が参加。「町内会活動の 手引き」を基に、区担当課等が支援制度の説明 を実施。また、区社会福祉協議会から、同所の 活動の説明がありました。

#### △移動研修会(10月23日)

蒲生なかの郷愁館、杜の都バイオマス発電所、仙台市南蒲生浄化センター、 キリンビール仙台工場を見学し、宮城野



区沿岸部の魅力と復興や利活用の状況を体感するとともに、会員相互の親睦を図りました。

#### △研修会(12月4日)

都市整備局都市計画課から講師をお招きし、 「仙台市の都市計画」と題して、仙台市の都市 としての特性と都市計画、宮城野区で行われて いる市街地形成に係る事業について学びました。

#### 「コンパクトな地域、出来る範囲で!」・・・・・・ 燕沢学区町内会連合会 会長 大西 憲三

燕沢学区町内会連合会は、新興住宅地と旧市 街地の住居の方との混在で構成される住宅街 で、約3,200世帯6町内会で構成されていま す。連合会主催の行事は、6名の町内会長に役



割分担し、手作りで新年祝賀会、学区民まつり、自主防災訓練、地域懇談会、移動研修会などを開催しています。地域団体との行事は、球技大会・学区民大運動会・敬老会・児童館まつり・演芸大会・職員歓送迎会と多様で、子供から高齢者までと幅広く参加がありましたが、忙しい現代社会の傾向で、休止・廃止の行事も出てきました。

仙台市との協働で実施した夜間の避難訓練 (平成27年)をきっかけに住民の方々の防災に 対する意識が高まり、自主防災訓練には現在も 大勢の参加があります。

地域交通「のりあい・つばめ」は本格運用4年目に入り、定時運行型で高齢者の日常の足として欠かせない交通手段で、継続運行中です。地域唯一のコミュニティーセンターは地域の総会などの会合から、幅広い年代層の室内球技、高齢者健康寿命の維持の健康体操、パソコン教室などで利用されております。

当連合会でも高齢化が進み、町内会をはじめ 各組織の担い手不足で活動の継続が困難な傾向 です。デジタル化にて事務負担を軽減し、無理

のない役員活 動で組織の継 続を推進する 必要があると 考えます。



夜間の防災訓練



あなたの心の準備に寄り添います



フリーダイヤル 🅿 0120-8739-10



## 岩林区 連合町内会長協議会 令和6年度活動状況

#### △総会 (5月22日)

令和5年度事業報告・収支決算報告、令和6年度事業計画案・収支予算案について、原案通り承認されました。

#### △理事会 (10 回)

#### $\triangle$ 新任町内会長研修会 (7月24日)

町内会長・副会長 22 名と役員が参加。遠見塚北親会会長 太田進氏から発表いただき、地道な取り組みが地域コミュニティを活性化させた事例について学びました。

#### $\triangle$ 町内会長移動研修会 (9月20日)

72名で南三陸町を訪問し、震災遺構やさんさん商店街を視察、東日本大震災伝承館南三陸311メモリアルではラーニングプログラムを受講しました。自然災害から命を守る術や知恵について学びました。

#### 「地域の魅力を伝える動画づくり」・・・・・

東北学院大生が若林区の地域を探索し、地域を紹介する動画を制作しています。

今年度は若林地区の地域の歴史や自然、防 災、イベント、お店をテーマに取材しました。





「せんだい Tube」 で配信中!





#### 「大和地区のスマイルステーション」・・・・・

大和地区連合町内会 会長 藤田 宏 大和地区は東に仙台バイパス、北に卸商団 地、地下鉄東西線卸町駅周辺の大和町、中倉、 志波町からなり、現在は会社や商業施設、高層

マンションが立ち並ぶ地域になっています。

地区には祭りなど住民が集う場所が少ないのが悩みでした。大和小学校改築工事に伴い、令和4年に地域と共に子どもを育むまちの心の拠り所として「スマイルルーム」ができました。 大和地区にお住まいの方ならどなたでも利用できます。

また、6年生の学習の中で高齢者との交流活動を行いました。最初は子どもたちも恥ずかしがっていましたが、回を重ねるごとに会話もはずみ、また、地域の皆さんは子どもたちを孫のように思い、子どもたちが考えた脳トレゲームを一緒にしたり、お話したり、遊ぶ姿に目を細め楽しさを満喫しています。学校の協力のもと、これからも笑顔あふれる地域のステーションとして活用していきたいです。



みんなで紙飛行機大会





## 太自区 連合町内会長協議会 令和6年度活動状況

- △**定期総会**(5月14日) 令和5年度事業報告等。
- △**新任町内会長研修会**(7月3日) 町内会組織の概要や各種制度について。
- △**移動研修会**(11月21日) 宮城県多賀城市および松島町を視察。
- △**重点テーマ** (6月5日) VR を利用した災害体験型の防災研修。

#### 

長町地区町内会連合会 会長 小林 利一 長町地区には広瀬橋のたもとから南に向かっ て歴史ある商店街があり、さらに西へいくと、 住宅街や大型専門店があるなど、利便性の良い 地域となっています。

当連合会の取り組みとしましては、行政との 懇談会の開催や「長町・歩いて楽しい街並みづ くり」と題した行政の取組に参画し、これから のまちづくりを目指した社会実験を実施しまし た。

また、第25回「ながまち交流フェスタ」を 開催し、中央市民センターにて活動している 32団体に参加いただき、舞台発表や展示体験 などを行いました。皆様に楽しく興味をもって ほしいとの趣旨から「阿吽太鼓」でスタートし た会場は、大いに盛り上がりました。また、広 瀬川灯ろう流しや、打ち上げ花火の復活など、 地域行事にも活発に取り組むほか、長町中学校 区での災害避難訓練へ参加するなど、安心・安 全なまちづくりに取り組んでいます。

今後もさらなる楽しく住みやすいまちを目標 に、各町内会員と連携し、各種活動に参加する 地域づくりを進めてまいります。



ながまち交流フェスタ 2024

### 「夢を語れる町内会活動に」・・・・・・

秋保小学区連合町内会 会長 大江 広夫 当連合町内会のテーマは「安心・安全な暮ら しと自然豊かなふる里を守ろう」である。世界 的パンデミックもあり、しばらく活動らしい活 動ができなかった。緩やかに社会全体が開かれ るようになってから、はて何から始めればいい のという戸惑いが生じた。周囲からは、集まり や行事を持たなくてもなんの支障もなかったと いう声も聞こえ始めていた。

悩んだら原点に立ち返る。まずは足元から見つめ直そうと、「助け合いと地域の再発見を通してふる里に誇りを持つ」というサブテーマの再確認を試みることにした。さらに、私たちが生まれ、育ち、生活している地域の人々や自然、歴史と文化に目を向け、そのよさや魅力を共有していくことが、現在と未来の町内会活動の在り様を考えていく一つのヒントになるのではないかと考えたのである。

研修会には秋保地域資源活用委員会須藤委員 長を招き、「秋保がひきつけてやまないもの」 と題し、自然や景観、歴史資料等のスライドを 交えての講話をいただいた。また、境野地区で 活躍している創生会の取組について早坂町内会 会長から活動の様子や成果などを説明していた だいた。「秋保地域には先人たちが大事に守り 続けてきた風土や伝統がまだまだ生き続けている。」「身近なところに地域の人同士が深くつな がり、里山の魅力を伝えようと頑張っている団 体がある。」など、参加者から共感と自信をう かがわせるような言葉や感想が聞かれたことは 大きな喜びであった。

単位町内会をコアとしながら連合町内会の活発な運営をすすめていくには、「おらほのまち」のよさや未来への夢を誰一人遠慮することなく、自由に語り合える場が必要なんだと素直に思える機会となった。

オフィスを進化させ、

# 赤井沢

仙台市太白区長町五丁目3-3 本社営業部 Tel 249-2121

□長町店 TEL247-8848

口大和町店 Tel238-0543





## 泉区 連合町内会長協議会 令和6年度活動状況

#### △総会 (5月14日)

令和5年度事業・決算報告や令和6年度事業 計画・収支予算案などについて、原案通り承認 されました。

#### $\triangle$ 新任単位町内会役員研修会 (6月 26日)

当協議会会長より町内会運営について講演、 区の担当課より「町内会活動の手引き(当協議 会発行)」を基に、支援制度等について説明が ありました。

#### $\triangle$ **単位町内会長研修会** (9月2日)

泉区内の単位町内会長を対象に、「地震災害への備え」をテーマとして、仙台市危機管理局減災推進課による「せんだい災害 VR」と、NPO 法人 SONAE 防災研究所の庄子健一氏による「クロスロードゲーム」を実施しました。

#### $\triangle$ 連合町内会長研修会 (12 月 4 日)

仙台市・名取市沿岸部の「蒲生なかの郷愁館」「名取市震災復興伝承館」「アクアイグニス仙台」「JR フルーツパーク仙台あらはま」などを訪れ、東日本大震災後の復興の歩みや沿岸地域の新たな賑わい交流施設を視察しました。

# 「愛と活力の街、住みやすく安全・安心の街づくり」を目指して・・・・・

南中山連合町内会 会長 原 和子

南中山連合町内会が設立されて、約40年が 過ぎようとしています。初代の連合町内会長か ら男性の会長が続いていましたが、今年度、初 めて女性の会長として就任いたしました。

町内には県立光明支援学校、県立啓佑学園、 聖和学園短期大学、地域包括支援センターなど があり、定期的に小中学校や幼稚園、地区社会 福祉協議会、学区民体育振興会などと各種団体 懇談会を開催しながら、地域の絆やつながりを 深め、各団体が一丸となって地域の活性化を目 指しています。

一方で、近年では高齢化の進行により世帯人員も減少し、町内会の脱退者も増えてきています。そのような状況の中、今年度も役員の皆様のご協力で「愛と活力のある ふるさと夏まつり」を開催しました。会場である中学校のグラウンドでは、あちらこちらで同窓会が開かれているような楽しそうな声が響きわたり、改めて子どもたちにとって「ここがふるさと」と思ってもらえるような地域づくりに尽力したいと思いました。

南中山地域を巣立っていった子どもたちが、 大人になって当地域に戻ってきたという話を聞くと、とても嬉しく感じます。ぜひ次世代の地域づくりを担っていただきたいと期待しています。



夏まつりの様子

## 仙台市建合町内会長会役員



会長鈴木公至太白区



副 会 長 菅井 茂 若林区



副 会 長 傳野 貞雄 泉 区



副 会 長 大西 憲三 宮城野区



副 会 長 齋藤 和平 青葉区



庶務理事 橘川 光男 宮城野区



会計理事 吉澤 秀晃 青葉区

理事 古山 健造(青葉区) 理事 後藤 潮(青葉区) 彰 (青葉区) 理事 小野寺 大柳 弘(青葉区) 理事 勝 (宮城野区) 理事 牛坂 理事 菊地 榮司(若林区)

理事 太田 善雄 (若林区) 理事 三野宮利男 (太白区) 文夫 (太白区) 理事 伊藤 理事 定男 (太白区) 福士 諄一(泉 理事 小野 区) 理事 阿部 晃(泉 区)

理事 後藤 郁雄 (泉 区) 理事 熊谷早希子 (泉 区) 監事 藤田 宏 (若林区) 監事 齊藤 勉 (泉 区)

#### 受章・受賞者紹介

# 旭日単光章 地 方自治功労



大西憲三さん 宮城野区 鶴ケ谷菖蒲沢 町内会会長



茂さん 菅井 若林区 河原町古城 町内会会長

# ·総務大臣表彰



福士定男さん 太白区 富田 町内会会長



傳野貞雄さん 泉区 高森八丁目 町内会会長

#### ▼全国自治会連合会表彰

古山 健造さん 青葉区青葉土樋町内会会長 小野寺 彰さん 青葉区ひばりケ丘町内会会長 文夫さん 伊藤 太白区鹿野町内会会長

#### ▼宮城県自治会連合会表彰

伊藤 勝衞さん 青葉区原町内会会長

酒井 典雄さん 青葉区桜ケ丘青葉台町内会会長 菊地 文博さん 宮城野区原町苦竹第一厚生会会長 庄子 誠喜さん 太白区あすと長町三丁目町内会会長

緑川 武夫さん 泉区向陽台五丁目町内会会長 齊藤 勉さん 泉区紫山一丁目町内会会長 熊谷早希子さん 泉区南光台前坂東町内会会長

#### ▼仙台市連合町内会長会表彰

村上 一彦さん 青葉区台原地区町内会連合会会長 菅井 茂さん 若林区南材地区町内会連合会会長 善雄さん 若林区六郷地区町内会連合会会長 太田

#### 仙台市の自治組織

区 名	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉 区	仙台市計
連合会数	38連合会	13連合会	9連合会	23連合会	29連合会	112連合会
町内会数	499 (462)	211 (204)	178 (169)	277 (262)	206 (186)	1,371 (1,283)
加入世帯数	115,384 (112,512)	71,154 (70,596)	53,590 (51,928)	80,824 (78,659)	77,743 (69,911)	398,695 (383,606)
総世帯数	171,565	99,107	71,918	111,191	96,223	550,004
加 入 率	67.2%	71.8%	74.5%	72.7%	80.8%	72.5%

注1 令和6年6月1日現在

注2 上段の数はすべての町内会数、( ) は連合町内会に加入している町内会数

#### 【広報委員】

委 員 長 橘川 光男(宮城野区) 委 員 小澤 幸雄 (若林区) 委 員 小野寺 彰 (青 葉 区) 委 員 川村 祐毅 (太白区) 員 門間 栄松(宮城野区) 緑川 武夫(泉区)

杜の都の不動産トータルコンサルタント

## **③** 松栄不動産株式会社



入居者募集業務

土地活用

オフィスビル経営 不動産仲介売買 賃貸管理マネジメント コインパーキング

不動産に関する無料相談実施中!

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 1-2-8 TEL. **022-299-1947** 



広報委員

仙台市連合町内会長会だより第34号をお読みいただきあり がとうございます。地区連合町内会の活動の様子を中心にお届 けいたしました。それぞれ特徴のある活動の様子が伺えます。 最後に、この場をお借りして本号の発行にご協力いただきま した協賛企業の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(広報委員一同)